

平成29年度 授業改善推進プラン

教育目標

○よく考える子 ○やさしい子 ○げんきな子

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育目標
- 港区教育目標

- 学校・家庭・地域の願い
- 保護者・地域の期待や願い
- 期待される児童増

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

☆基礎基本の確実な定着 ☆校内研究、OJTの充実 ☆複数担当制の充実
 ☆算数少人数習熟度別指導の充実 ☆読書活動の充実 ☆ICT教育の充実 ☆国際科の推進
 ☆体験学習・調べ学習の充実 ☆「特別な教科」道徳の充実

各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	取組内容	生活指導の重点
道徳の教科科に向け、国語的な読解型授業から、葛藤資料を多く取り入れ、児童が考えたり、議論したりする問題解決型授業を展開していく。	国語	◎理解や表現、語彙力育成のため、言葉調べを行ったり、文章に触れる機会を多くとったりする読書活動の充実を図る。 ○項目立てる大事な言葉を短くメモする等効果的なメモ指導を行う。	あいさつ月間を行い、相手の顔を見て、気持ちのよいあいさつができることを目指す。 問題行動の指導の際は敏速な指導を行い、その児童を認める機会と捉える。 教職員が芝小生活指導スタンダードを徹底する。
	社会	◎資料の読み取り活動を通して、社会的事象の特色や相互の関連、意味等を多角的に考えたり、判断したりする力を育む。 ○見学や調査で得た知識を、新聞づくり等を通して表現する。	
	算数	◎日常生活などから問題を見出し主体的に取り組む数学的活動を充実させることで、目的に応じた考え方、見方を柔軟に判断し的確に解決しようとする力を育む。 ○数学的活動の楽しさやよさに気づき、生活や学習に活用しようとする。	
	理科	◎学習活動の中に体験的な活動や実験、観察を多く取り入れ、結果や考察等を児童同士で交流する場を多く設定する。 ○各単元で児童に適切な資料を提示し、理解を確実にする。	
総合的な学習の時間の重点 地域や企業等の力を活用し、課題をもち、解決したくなるような活動を取り入れて関心意欲に繋げていく。 ロボットプログラミングやタブレットを活用した授業を展開していく。	生活	◎体験的な活動を可能な限り取り入れ、生活科における実体験を伴う活動を充実させる。 ○動植物の観察や栽培・飼育を通して、多面的な視点を養う。	進路指導の重点 キャリア教育をもとに、将来の自分について具体的に考える活動を取り入れ、自分自身に関心をもつことのできる授業を展開していく。中学との連携を図り、交流をしていく。
	音楽	◎〔共通事項〕や音楽の特徴を表す言葉と音楽活動を関連付け、音楽科における言語活動を充実させる。 ○音楽表現に対する思いをもち、友達と意見交流する場を増やす。	
	図画工作	◎各々の表現したい思いや意図を認め自分らしい表現に自信をもたせる。 ○様々な素材体験を通して、材料や用具の活用法を理解させる。	
	家庭	◎自分の思いや願いを製作物に込めて作成し、計画を立てて活動できる力を身に付けさせる。 ○家庭で取り組むことができる課題を見付け、技能を身に付ける。	
	体育	◎系統性を意識して指導し、既習の動きや技能を活用して学習課題を解決させるようにする。 ○ボールゲームを、狭いスペースでもできるように簡易化して低学年から継続的に取り組むようにする。	

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○情操教育・文化的行事の設定 (国際科発表会・音楽会・学芸会・展覧会・花育) ○わくわくタイムの設定 ○三田アカデミーの充実	○時間講師・少人数指導の工夫 ○RAS・図書ボランティアとの連携強化 ○ICT機器の活用 ○体験学習・調べ学習の充実 ○言語活動の充実	○複数指導者による評価 ○指導計画の見直しカリキュラムマネジメントの充実 ○外部評価の充実	○校内研究の充実 ○年間を通してのOJT研修の実施 ○道徳授業研修会 ○服務事故(体罰)防止研修会	○教育ボランティアの活用 ○家庭学習の工夫 ○個人面談の充実 ○開かれた学校づくり ○外部人材との指導連携